

## 【背景】

- ① 地域の価値やブランド力を高める森林空間の健康・観光・教育分野等における新たな総利用に係る新産業となる「森林サービス産業」の創出への期待。
- ② 「森林サービス産業」を通じて、社会的課題の解決に森林が寄与し、森林の付加価値が創造され、山村地域が活性化されることへの期待。
- ③ 「森林サービス産業」を通じて森林と繋がることにより、SDGs時代を見据えた企業経営を支援する取組としても注目。
- ④ 森林資源の豊富な山村地域において、「森林サービス産業」の創出に向けた政策誘導を図っていくことが国の役割として期待。

➤ 「森林サービス産業」の創出・推進にあたっての課題として指摘されている下記①から③について、幅広い分野の関係者を招聘した検討委員会及び専門部会を設置し、専門的知見のもとで現状把握・状況分析等を行い、具体的な課題解決方策について検討を行なう。

## 【課題項目】

- ① 森林空間利用がもたらす効果（エビデンス）の発信・共有・蓄積
- ② 需要側と供給側での効果的な情報の共有のしくみの構築
- ③ 地域における推進体制の整備や人材育成



森林×健康



森林×観光



森林×教育

# 「森林サービス産業」の創出・推進に向けた調査検討

課題

2019年度の動き

2020年度～

「森林サービス産業」  
検討委員会  
(2018年8月設置)

とりまとめられた課題・方向性  
(平成31年3月報告書)

事業の中核を担う人材の開  
拓・育成

森林サービス産業のもたらす効  
果（エビデンス）の発信・共  
有・蓄積

地域の推進体制の整備、プロ  
グラム開発

需要側と供給側の効果的な情  
報の共有の仕組みの構築

プロモーション

「森林サービス産業」  
検討委員会  
(2019年8月設置)

健康分野におけるエビデンス  
の取得、発信・共有、蓄積  
に係る課題解決に向けて、  
検討会、試行運用を通じて  
モデル手法の提案。



「森林サービス産業」に係る  
関係者の自立的かつ持続  
的な運営が可能となる情  
報共有体制等のモデル手  
法等の提案。

- 具体的な解決方策のモデル提  
示に向けた検討・分析など

○モデル的な取り組みを通  
じて「森林サービス産業」  
の具体事例を積み上げ、  
民間企業等の需要側へ  
効果を発信し関心を拡  
大。

○上記を達成するための  
健康分野のエビデンスや  
企業にとつての具体的  
効果を検証し、明確化

○山村等の供給側へ具体  
的実施手段の共有化

○インバウンド対応も視野  
に入れ、「森林サービス  
産業」のコンテンツの充  
実を図る。



# 森林由来の植物精油による香イノベーション

## 【背景】

- ① アロマオイル(香料製品等)の原料は、欧州等から輸入された植物精油が大半。
- ② 山村地域には、スギ、ヒノキやクロモジ等の未利用資源があり、精油の原料となる可能性大。
- ③ 現在、これらから精油を採取・利用する動きが国内各地でみられるが、小規模分散。製品のポテンシャルはあってもユーザーの認知度が低く、産業と呼べるには至っていない状況。

➤ 森林由来の植物精油を活用した香ビジネスの成長産業化による山村活性化に向けて、以下を実施。

## 【実施内容】

- ① 我が国におけるアロマオイル(香料製品等)の生産流通、ニーズ、嗜好等についての調査。
- ② 森林由来の植物精油の効用や機能性等の調査。
- ③ 各地域の生産者が一定の品質を確保するために必要な事項(業界認証制度、トレーサビリティ等の必要性及び導入手法)の検討。



(原材料の採取)



(原材料の採取)



(精油の抽出)



(天然精油の医学的活用)

令和元年8月26日  
林野庁森林利用課

## 令和元年度「森林サービス産業」検討委員会の設置 及び第1回検討会の開催

### 1. 「森林サービス産業」検討委員会について

メンタルヘルス対策や健康づくりの場などとして森林空間を活用した「森林サービス産業」や、地域の林地残材や枝葉等の森林由来の植物製油を有効活用した「香ビジネス」の創出・推進に向けた課題解決方策や、今後の展開方向等について検討するために設置。

また、検討委員会の下に、「エビデンス専門部会」、「情報共有専門部会」、「香イノベーション専門部会」を設け、個別の課題解決方策等について検討を実施。

なお、本検討会は農林水産省官房政策課の「新たな政策課題への対応のための委託調査」に係るプロジェクトとして実施。

### 2. 第1回検討会の開催について

日 時：令和元年8月26日（月） 15:00～17:00

場 所：農林水産省三番町共用会議所「別館 AB 会議室」

主な議題：検討の方向性、専門部会の設置、今後の予定、等

### 3. 具体的な検討内容

- 森林空間における健康づくりなどの活動の効果・効用のエビデンスについて、実効性のあるデータの取得、蓄積手法
- 自立的かつ持続的なサービス産業に必要な異業種間での情報共有、マッチング、プロジェクト推進の仕組みづくり
- 森林由来の植物精油について、製造・流通・販売等の実態を踏まえた香ビジネスの展開方向や品質確保に向けた方針、需要者に対する普及啓発のあり方等

### 4. 今後の進め方

○11月頃 第2回検討会

○1月頃 第3回検討会

※上記の検討会のほか、各専門部会を3～4回程度開催する予定

# 令和元年度「森林サービス産業」検討委員会について

## 「森林サービス産業」検討委員会

「森林サービス産業」、国産植物精油による香ビジネスの現状及び課題の把握、産業の創出・推進に向けた提言を実施

氏名	所属・役職	氏名	所属・役職
委員 赤池 学	(一社) CSV開発機構 理事長	委員 椎川 忍	(一財)地域活性化センター 理事長 (一社)移住・交流機構 業務執行理事
委員 安藤 伸樹	全国健康保険協会 (協会けんぽ) 理事長	委員 志村 格	(一社)日本旅行業協会 (JATA) 理事長
委員 池田 三知子	経団連自然保護協議会 事務局長	委員 武居 丈二	全国町村会 事務総長
委員 稲本 正	東京農業大学 客員教授	委員 土屋 俊幸	東京農工大学大学院 農学研究院 教授 林政審議会 会長
委員 大本 晋也	(独) 国立青少年教育振興機構 理事 国立淡路青少年交流の家 所長	委員 津野田 勲	(一社) 香りの健康ライブラリー 代表理事
委員 久保 成人	(公社)日本観光振興協会 理事長	委員 鍋山 徹	(一財)日本経済研究所 専務理事 林業復活・地域創生を推進する国民会議 WG主査
委員 熊谷 晃	長野県信州ブランド推進監 営業本部営業局長	委員 松本 晃	(株) 日本政策投資銀行 地域企画部 次長
委員 佐野 雅宏	健康保険組合連合会 副会長・専務理事 安田日本興亜健康保険組合・理事長	委員 宮林 茂幸	東京農業大学 地域創成科学科 教授 美しい森林づくり全国推進会議 事務局長



### エビデンス専門部会

- エビデンス取得・発信・蓄積等調査
  - i) エビデンス等の収集
  - ii) 企業等ニーズ調査
  - iii) 企業・医学界等の先進事例調査
  - iv) 導入企業等のヒアリング調査
  - v) エビデンス取得手法試行運用等

### 情報共有専門部会

- マッチングの仕組み等調査
  - i) 関係者間の情報共有の課題整理・プラットフォーム構築を通じたマッチングの仕組みの事例収集
  - ii) 情報共有の仕組みの整理・分析
  - iii) 情報共有の体制モデルの提案

### 香イノベーション専門部会

- 香ビジネス促進に向けた調査・分析
  - i) アロマオイル事情の調査
  - ii) 生産流通実態・ニーズ等調査
  - iii) 国産植物精油の効用等の調査
  - iv) 業界認証制度の必要性等検討
  - v) 生産者・消費者との意見交換

# 委 託 事 業 仕 様 書 (抜粋)

## 1 事業名

森林資源を活用した新たな山村活性化に向けた調査検討事業

## 2 目的

今後、急速な少子高齢化と人口減少が進展する中で、山村地域の自立性を確保し、地方創生を図ることが喫緊の課題となっている。このような中で、山村地域が有する森林空間等の多様な森林資源を活用することにより、地域の価値や地域のブランド力を高める「森林サービス産業」の創出への期待が高まっている。他方で、不規則な食生活や運動不足等が原因で起こる生活習慣病の増加に伴う医療支出の増大や働き方改革の流れ等を背景として、民間企業において、従業員の健康管理に戦略的に取り組む、いわゆる「健康経営」の取組が進んでおり、その実践の場として、森林空間を活用し、従業員のヘルスケアやメンタルケアに対応するプログラムを提供するといった、健康分野における「森林サービス産業」の取組に対する期待が高まっている。今後、こういった取組を全国展開していくに当たっては、森林空間における様々な活動が人間にどのような効果をもたらすか等についての、医学的エビデンスを収集・蓄積するとともに、関係者のマッチングや情報共有の仕組みを構築していくことが重要となっている。

また、山村地域には、林地残材や枝葉等の未利用資源が存在しており、これを有効活用した新産業を創出することにより、林業関係者の所得向上や地域の雇用増加が期待される。中でも、植物から天然精油を抽出してアロマオイル（香料製品等）を製造する、いわゆる「香ビジネス」については、消費者の健康志向の高まり等を背景として、成長のポテンシャルが高い分野であるが、現状では、生産の実態は小規模分散であり、生産者を含めた業界体制が整備されていない。今後、こういった取組を産業として成長させていくためには、国産植物精油の品質確保に向けた仕組みを整備するとともに、関係者のネットワーク化に向けた体制整備を行うことが必要である。

このような観点から、本事業では、森林資源を活用した新たな発想による山村の活性化を目的として、①健康分野を中心とした「森林サービス産業」と、②国産植物精油による香ビジネスについて、産業の創出・推進に向けた課題解決・政策立案のための基礎調査を実施する。

### 3 事業の実施期間

契約締結日から平成 32 年 3 月 19 日（金）までとする。

### 4 事業内容

- (1) 「森林資源を活用した新たな山村活性化に向けた調査検討委員会～森林サービス産業・香ビジネスの創出・推進（仮称）」の開催

（中略）

「森林サービス産業」・国産植物精油による香ビジネスの創出・推進に向けた方策等を検討するため、「検討委員会」及び「専門部会」を設置し、円滑に実施できるよう必要な事務局業務を行う。

「検討委員会」は、「森林サービス産業」・国産植物精油による香ビジネスの現状及び課題の把握、産業の創出・推進に向けた提言等を目的とし、以下の専門部会の検討内容の方向性や取りまとめ方針の決定を行う。

（中略）

「専門部会」は、「森林サービス産業」に関する「エビデンス専門部会」「情報共有専門部会」、国産植物精油による香ビジネスに関する「香イノベーション専門部会」を設置し、・・・・・・

（中略）

「エビデンス専門部会」は、健康分野において森林空間を利用することによる効果・効用のエビデンスの取得・蓄積、民間企業等への発信等についての提言を行うことを目的として、・・・・

（中略）

「情報共有専門部会」は、自立的かつ持続的な「森林サービス産業」の運営が可能となるよう、関係者間での効率的・効果的な情報共有の仕組みやサービスの提供者と利用者とのマッチングの場の整備等についての提言を行うことを目的として、・・・・

（中略）

「香イノベーション専門部会」は、国産植物精油の製造・流通・販売等の実態を踏まえた香ビジネスの展開方向、国産植物精油の品質確保に向けた方針、国産植物精油の効用・機能性の取りまとめ、業界関係者等のネットワーク化に向けた体制整備、需要者に対する普及啓発のあり方等についての提言を行うことを目的とする。・・・・・・